

地元のイチオシ 皆で描いた!

東京都北区 瀧野川女子学園高校 美術部

キャンパス
アート
アワード
2021

みんなが描いた「地元のイチオシ」がキャンパスノートの表紙になるかも!? 読売中高生新聞と文具メーカー「コクヨ」は、そんなワクワクする絵画コンテストを開催中。作品づくりに取り組む瀧野川女子学園高校(東京都北区)の美術部を訪れました。

育った街 見つめ直す

風景、行事、名産品などを描いてもらう、このコンテスト。美術部顧問の石川一樹先生は「生徒が、自分を育ててくれた街の魅力を再発見する機会になると思いました」と話

ます。

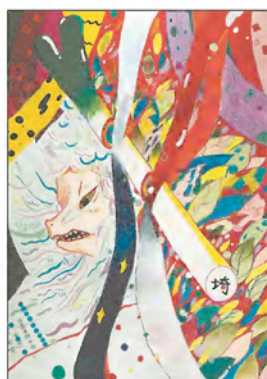
生徒たちは7月から題材を検討し、現地で写真を撮影したり、ネットで調べたりしてイメージをふくらませたそうです。まもなく完成する絵からは「多くの人にこの街を知ってほしい」という思いが伝わってきます。その一部を紹介します。



① いらっしやいませ 坂元美有さん(2年)

東京都北区の赤羽という街に住んでいます。商店街にあるたくさんのお店の中から、60年以上続くおでん屋さんを描きました。色々な種類があるし、みんなで食べられるのが好きだから。背景もおでんのダシや辛子の色をイメージしました。

▶赤羽は安い居酒屋が多く、飲んべえの聖地としても有名



⑤ 埼玉に隠されしもの メ木優歩さん(1年)

自分が暮らす埼玉の良いものを三つ選びました。左は、川越市の祭りに登場する茨鉦です。中央は、深谷ねぎ。とってもおいしいんです。右は狭山茶ですが、ピンクや青も入れてカラフルな葉にしました。県のお茶が「彩の国」なので、彩り豊かに表現しました。

▶狭山茶は、静岡茶、宇治茶と並ぶ日本三大銘茶の一つだ

② 今も忘れないワクワクを 青木花愛さん(2年)

さいたま市の自宅近くの児童遊園地を描きました。小さなときに祖父母によく連れてってもらって、思い出がいっぱいある場所です。絵の両脇には、赤い幕を開ける私の手を描きました。舞台の幕が開くときに感じるワクワクした気持ちを伝えたいと思いました。

▶さいたま市は2001年に浦和市、大宮市、与野市が合併して誕生した



⑥ #川越 工藤杏莉さん(1年)

昔ながらのお菓子が並ぶ埼玉県川越市の「菓子屋横丁」が題材です。風船アメは、あったかくて甘いんです。桜や梅の模様の金太郎アメもかわいくて、絵にちりばめました。江戸情緒あふれる街も好きなので、屋根瓦や着物の女性も描きました。

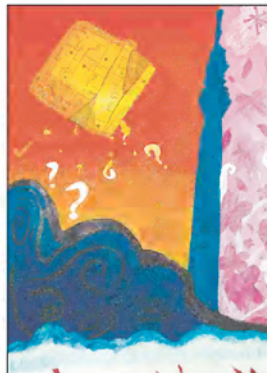
▶川越は江戸とのつながりが深かったことから「小江戸」とも呼ばれる



③ 懐かしのゲーム 永井萌乃香さん(2年)

自分が住む東京都板橋区についてネットで調べて見つけたのが「駄菓子屋ゲーム博物館」です。駄菓子屋にあったレトロなゲーム機がたくさん展示されているそうです。ゲーム機の盤面や「両替」の文字などをあしらって、見て楽しくなる作品を目指しました。

▶板橋区には、「東洋一のマンモス団地」と呼ばれた高島平団地がある



⑦ これからもある 清水璃栄さん(1年)

自宅がある東京都墨田区のイチオシは「東京スカイツリー」。ライトアップされたツリーを見るのが大好きです。オレンジ色の四角い建物は「すみだ北斎美術館」。地元が生んだ浮世絵師・葛飾北斎の作品を展示しています。北斎が富嶽三十六景で描いた波を表現したくて、隅田川も大きくあしらいました。

▶大相撲の聖地・両国技館もある。住所は墨田区横綱1丁目。横綱ではない

④ 並木通りの百代橋 内田結梨さん(1年)

私が住む埼玉県草加市のシンボル「百代橋」です。松尾芭蕉の紀行文「おくのほそ道」の最初に登場する「月日は百代の過客にして」から命名されました。散歩するときや友だちと買い物に行くときに渡っていて、思い出がたくさん詰まっている橋です。

▶草加市の名物は草加せんべい。宿場町の茶屋で旅人向けに売られていた



9月10日まで
応募受け付け中!

作品の応募締め切りは9月10日(必着)。応募方法など詳細は、特設サイト(「キャンパスアートアワード」で検索するかQRコードから)で。審査結果は11月下旬に発表予定です。

